

第4期川和地区地域福祉保健計画の取組に向けた検討事項

第3期川和地区地域福祉保健計画の具体的な取組	第4期川和地区地域福祉保健計画の取組	優先度	19/5/25地域懇談会で討議した第3期川和地区地域福祉保健計画の具体的な検討項目をベースとした 第4川和地区地域福祉保健計画の取組に向けた検討事項
関連団体の定期的なミーティングを通じた情報交換をする。	地域団体が情報交換して理解を深める		関連団体の定期的なミーティングは多くやっているが、その繋がりがうまくいっていない。 福祉施設/加賀原ケアプラザ/川和地区社協の情報交換会である川和地区福祉ネットワーク交流会を活用して相互理解を深める。
活動のPRをする	地域団体の活動をPRする		回覧板が多いが福祉活動を周知することで理解が広がるので、どうしたら見てもらえるのか情報発信の工夫をする。地域団体は連合町会HPにて情報提供する。 消費生活推進員の活動を充実して、その活動をPRする。
活動の担い手（ボランティア）の募集・育成し、有効利用する。	活動の担い手（ボランティア）を育成する		福祉活動の継続には担い手の確保が必要であり、参加者にも役割を持ってもらう、地域人材バンクリストの作成等の方策を検討する。
定期的に福祉保健活動の進捗状況をまとめ・報告をする。	定期的に川和地区地域福祉保健活動の進捗状況をまとめ、報告する		福祉保健活動のまとめ・報告について、地区社協からの報告を毎回各戸配布している。更に連合町会HPにて情報提供する。
高齢者が楽しみながら活動し、安心して住める地域をつくる。	緊急時、困っている人々を助ける		救急隊への情報提供バックを配布し、緊急時/災害時に利用することとする。個人情報の記入へ啓蒙活動をする。 都筑区と「災害時要援護者情報の提供に関する協定」を締結して要援護者の名簿の提供を受けて訪問する。 そなえは19/5/25地域懇談会で討議しなかった。そなえ啓蒙のためにアンケートを実施する。そなえガイドの再配布する。 つながり♡ネットは19/5/27地域懇談会で討議しなかった。町内会・自治会でつながり♡ネット(会議)の構築する。福祉に関する問題が発生した場合、解決のためのつながり♡ネット(会議)を開催する。
●そなえマップの更新			
●つながり♡ネットの構築			
●川和連合ふれあいたいの活動の充実	平常時、要援護者の見守り・声かけに取り組む		川和連合ふれあいたいは19/5/26地域懇談会で討議しなかった。川和連合ふれあいたいの活動の充実を継続する。
子どもを健やかに育てる環境・仕組みづくりをする。	子どもを健やかに育てる環境を充実させる		夏祭りの情報を学校(子ども世帯)へ配布、小学校で認知症サポーターの講習会、青指が主催する凧揚げ大会/ふれあいスポーツデイが開催されているが、更にグランドゴルフ、地域の伝承機会等を開催して多世代交流の機会を増やす。 高齢者クラブ/子ども会での「子どもサロン」、子ども食堂等の開催を検討して地域でのこどもの受け皿をつくるとともに異世代の関わりを増やす。
学校との連携を増やし、多世代交流の機会をつくる。若い世代と年配の世代が助け合える関係をつくる。	助け合える関係をつくるため、学校との連携を強め、高齢者のイベントに子どもが参加する等の多世代交流の機会をつくる		地域・子供会及びPTA・学校が情報提供して連携を深める。 学地連の活動を活発にし、また学校地域コーディネータ制度の周知をすすめる。
高齢者が楽しみながら活動し、安心して住める地域をつくる。	高齢者、障がい者、子育て世代などが楽しみながら活動し、孤立しない安心して住める地域をつくる		高齢者クラブの活動が活発でまたりハビリ教室、お楽しみ会等が実施されているが、更に公園の花壇づくり、健康麻雀等イベントを「点」で開催し、いつでも話ができる場所をつくる。 サロン等に来られない方の送迎や買い物・通院サポートを検討する。 サロンなどの集団に参加したくない人のため、個別対応(訪問しての話し相手等)を検討する。
健康に目を向け、元気な生活を続ける。	健康に目を向け、元気な生活を続ける		歩け歩け大会や運動会などの地域イベント及びコミハやケアプラザで多様な健康活動が実施されている。 あいさつから人間関係を濃くする。

駐1: 斜体太字は追加、その他は第3期川和地区地域福祉見計画の検討事項とした。加筆、削除等を記載する。

駐2: 優先には大(主要項目)、中、小、小↓を2021/12/25地区懇談会で集計する。